

社会福祉情報・活動情報誌「きれい」



伊勢亀鈴会
ホームページは
←こちらから

福祉新聞
WELFARE NEWS
복지신문
VOL

153

きれい

創業80周年を迎えて

株式会社伊藤製作所

会長 伊藤 澄夫



草津市立
水生植物公園
みずの森

琵琶湖の雄大な自然に囲まれた植物園。四季を彩る珍しい草花やフラワーバスケットが美しい。他では見られない水生植物もあり、中でも様々な品種のハスやスイレンが楽しめる。

目次

■巻頭インタビュー ————— 1

創業80周年を迎えて

株式会社 伊藤製作所
会 長 伊藤 澄夫

■なかま ————— 7

元気の秘訣は何？

南勢就労支援センター 田中倉子 さん

■ハートフルリレー ————— 8

わくわくジャム

第2南勢就労支援センター
ジャム担当 加納早由里

■春夏秋冬 ————— 9

行事・クラブ・活動紹介

■きれいトピックス ————— 17

「伊勢市障がい者サポート企業・団体」認定
音楽療法
保護者総会
9施設合同大運動会

■きれいアートギャラリー ————— 20

日中活動作品紹介

■きれいかいの動き ————— 表3
新職員・人事異動他

表紙写真

亀山公園 花しょうぶ園

亀山公園は元々亀山城藩主の別荘のあったところで、約4,000平米の花しょうぶ園には、およそ100種類、約12,000株の花しょうぶが植えられており、競い合うように美しく咲く。

創業80周年を迎えて

株式会社伊藤製作所 会長

伊藤 澄夫



略 歴

BIOGRAPHY

1965年立命館大学経営学部を卒業後、伊藤製作所に入社。1986年同社代表取締役となり2022年12月同社会長に就任する。順送り金型メーカーの老舗企業であり、国際競争力のある金型製造技術の確立に努め、無人化、高速化、精密化を追求したプレス加工で卓越した技術力を誇る。

(社)日本金型工業会・副会長・国際委員長を歴任。中京大学特別栄誉客員教授、国立ソウル科学技術大学校名誉教授、神戸大学非常勤講師などを務めて後進の育成に寄与。2017年4月「旭日単光章」、21年1月「紺綬褒章」受賞。著書に「モノづくりこそニッポンの宝」「ニッポンのスゴい親父力経営」「日本製造業の後退は天下の一大事がある」。

INDEX

1. 人の嫌がる仕事を
2. 日本の「もの作り」は一流
3. 社員育成は社員への感謝から
4. 女性の雇用率が高い
5. 飛行機の中でマジックを考える
6. 金型製造を始めたきっかけ
7. 四日市市内の小・中学校へ図書費の寄付を
8. 残るはロケットと潜水艦
9. わくわくジャムを購入

今回は、株式会社伊藤製作所の代表取締役会長で中京大学特別栄誉客員教授の伊藤澄夫会長にお話を伺います。インタビューは鈴鹿社会的事業所まかせ太君の本間と同じく鈴鹿社会的事業所まかせ太君営業の濱口です。よろしくお願い致します。

Q1、今年は株式会社伊藤製作所創業80周年を迎えたとお聞きしました。会長の経営者としての根底は、先代のお父様の教えが大きいと、会長の著書から学びました。そこについて詳しくお聞かせいただけますか。

伊藤会長：父はずっと現場に入っていることが多く、無口で職人気質な人でした。そんな父から言われた言葉で覚えている言葉があります。「人の嫌がる仕事をしなさい。そして会社を大きくするなよ。従業員は50人以上は雇うな」と。私が「なんで？」と聞くと、「お前に会社を経営するだけの手腕はないと思う」と言われました。当時の私はその意味が理解できませんでした。父の言う通り、その後30年は、従業員を50人以上にはしませんでした。28年前、新規の顧客からかつてないほどの大量受注をしました。これで予想される毎年の利益をすべてリリースに充て、自動プレスの増設を図りました。

た。父から「社員を増やすなよ」と言われたことが、好結果を生みました。

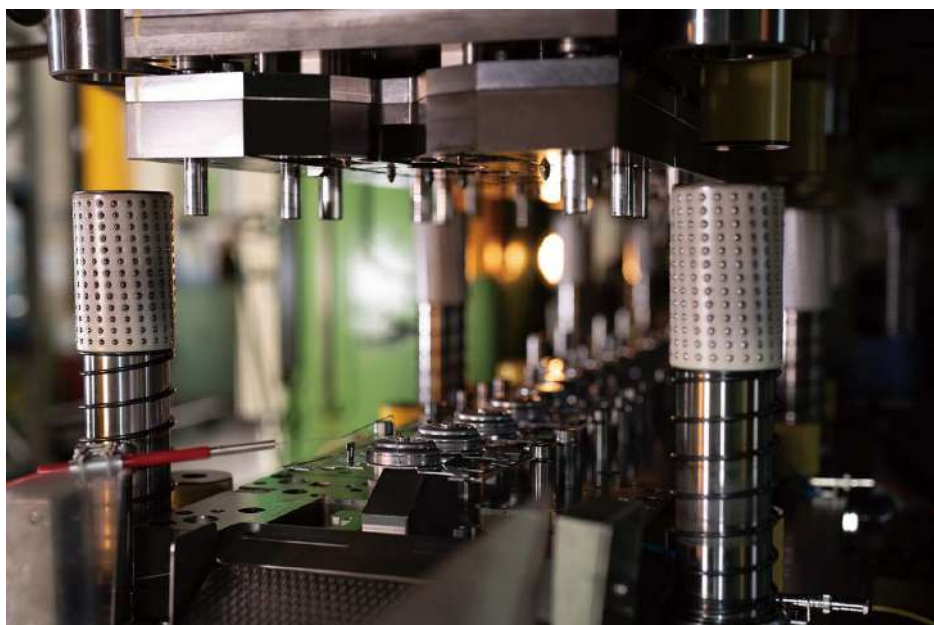
Q2、同じく著書で日本の「もの作り」は一流と書いてありましたが、なぜそう思われるのかお聞かせください。

伊藤会長：日本の「ものづくり」は世界でも一流と言いましたが、今世紀に入り世界で一流と言われる製品が減りつつあります。これは各国の追い上げと、日本の当局による働き方改革の実施によるものも理由のひとつだろう

(イ) 日本は地方が海に囲まれているため、国民は互いに助け合うことが定着しています。使う人の立場になってもものづくりをするのは日本人独特のもので、その後工程のことを考えながら自分の工程の仕事をやる考え方も日本独自のものです。

(ロ) 日本は資源に恵まれないため海外から材料を買い、それに付加価値をつけて海外に輸出することにより外貨を稼がなければ成り立たない国です。中国やアジアと比べ比較的賃金が高い日本で他国と同じ物を作っては割高になってしまします。したがってより性能のよい耐久性のあるファッショナブルな製品を作るよう各社とも日々努力をしています。

(ハ) 大リーグの大谷さんがグラウンドでゴ



当時40台だったプレス機は25年後に105台となりました。月間数量の多い部品は金型と材料を付けっぱなしにして段取りを無くした。若手社員でも生産が可能となったため当時より売上高は4倍あまりに増加しましたが、社員の増加は20%増えたのみです。段取り替えをして稼働率を上げる従来の方式の逆を行ったところ品質、納期、コストで得意先から高い評価を頂ける会社となりました

ミを拾う姿を見て多くの外国人が驚いています。海外から日本を旅行した皆さんが、どの街に行っても道路にもゴミが落ちていないことを知って、大谷さんの行動を理解したそうです。いつも職場を綺麗にし、機械の手入れなど充分に行うことで、良い製品ができると日本人は考えています。これが外国では絶対に真似のできない日本独特のやり方です。

(ニ) 日本のものづくり企業は常に製品の改善を繰り返しています。それにより顧客の高い評価でリピートオーダーが頂けているのです。トヨタ自動車が30年の長きにわたり走行距離が2倍近くになるハイブリッド車を完成したことはこの良い例です。現在では世界中の自動車メーカーはトヨタには勝ち目がないと評価しているほどです。



**Q3、会長の経営の基本に「社員を大切に
する」とありますが、具体的にどのようなこと
が教えてください。**

伊藤会長…当時、私は子供にできる範囲で社員に喜んでいただけることをしなければいけないと考えていました。それは両親の行動をみて自分で自覚したように思います。父は終戦の年に少ない資本で小さな町工場をスタートしました。ものを作れば飛ぶように売れる時代であったが、中小企業では当時も人材難で苦しんでいたと聞いています。そんな中、入社してくれた社員をこの上なく大切にしていたようです。職人さんが働いてくれるからお前たちは食事もできるし、学校にも行ける。いつも彼らに感謝しなさいと、私と姉に言っていました。母は焼き芋やぜんざい、甘酒などを毎日のように作って社員に振舞っていました。そんな両親の姿から子供は社員を大切にすることを学んだのでしょうか。私は冬になれば石油コンロをストーブにしています。その火を使って黒豆やぜんざいを15リッター、またカレーも10リッターほど作り社員に食べてもらっています。多分若い社員には会長がなぜこんな料理をするか意味不明でしょうね。これも母親から影響を受けたものです。

当社は昔も今も社員に食べ物配ることが流行っています。昔は19時まで残業してくれる社員にパンを振舞いました。その後、定時

で帰る社員にも渡すことになりました。さらに3時に帰るパートのかたにも配りました。パートの皆さんから子供が美味しいと喜んでいて耳にしたので、金曜日は2個渡すようにしました。さらに年に3回の大型連休の前日には5個ずつ渡すようになりました。最近米の価格が上がっていますが、15年前より秋田こまちを春秋各10キロ皆さんに渡しています。

令和の2年と3年はコロナの影響で世界経済に大きな打撃を受けました。私の経験では世界中のエア・ラインが飛ばなかったことは無かったです。そんな中、新規の製品受注が好調であったのが一気に製品として流動したのは令和4年でしたが、過去最高売り上げを達成しました。常日ごろ社員の皆さんの家族には陰ながら応援していただいていると思っています。それが今回の好業績に繋がったのでしょうか。そのお礼として社員の家族の皆様にお年玉を送ることにしました。現金書留でお礼の手紙を同封し、元旦の午前中に着くように手配しました。私は社長になって以来7年に一度程度社員の御家族の皆さんにお年玉をお渡ししていますが、いろんな気配りの中でこれが一番喜んでもらったことと思っています。

Q4、ホームページで女性の雇用率が高いということを拝見しました。会長の企業における女性の活躍推進についての考えを教えてください。



伊藤会長…当社は製造業としては女性の活躍が際立っていると思います。15年前に四日市商業高校からとても優秀な二人の女学生が入社してくれました。その後14年間何故か毎年二名の成績のいい女学生が入社しています。昔と違い現在の女性は寿退社が少なく、引き続き仕事を継続する例が多くなっています。男子生徒は県外の大手企業に就職する例も多いが女学生は自宅から通える会社を選ぶ習慣は当社にはありがたいです。

過去10年間で女学生徒22名、男子生徒は15名を採用しました。最近の製造業はコンピュータを使った機械装置が多く、ほぼ無人で生産できるのです。全ての工場や作業場は冷暖房を完備でしかも十分に安全が上げられています。当社は金型設計(CAD)、NC機械を稼働させるデータ(CAM)、品質管理、工場管理、総務などはほぼ全員が女性ですが、顧客からは高い評価を受けています。今後とも年々女子の比率が上がっていくでしょう。

Q5、会長はマジックをされると伺いました。マジックはご自身で考えられるのですか？

伊藤会長：最近海外に行く事は少なくなりましたが、以前多い時には年間100日程度出張していました。いつもの飛行時間は退屈で必ず機内にカードを持ち込みマジックのネタを考えるようにしていました。今ではカードマジックが一番得意となり200種類くらいできるのではないでしょうか。マジックというのは見る人は楽しく、演じる者は不思議そうな顔をしている皆さんを見ることが楽しいのです。特に海外では誰でも言葉の壁があります。そんな中マジックすることによって短時間で親しくなれる事が素晴らしいです。長い間経営していますが、会社にとって良い状況になったきっかけがマジックで知り合った方からの恩恵であったことは少なくありません。最近マジックから遠のいていましたが、最近若い社員に演技したところ思ってもみない感激・感動する彼らを見ました。こんなに凄いマジックを見た友達に言っても信用しないでしょうね、と言われました。そしてその後海外や外出する時、再びマジックを持ち歩くようになりました。

Q6、金型製造を始めたきっかけは「お客様の助言」であったとお聞きしています。戦争時の爆撃機B・29の部品もきっかけであると著書で書かれていました。当時のお父様の感じた思いなどをお聞かせいただけませんか？



伊藤会長：名古屋大空襲は終戦わずか半年前頃に何度もやられました。もし一年前に終戦になっていたら名古屋は何の被害もなかったと思えば残念です。昭和20年3月12日の爆撃は市内を中心に行われました。手に職があった父は兵役を免れ、三菱重工名古屋航空機でゼロ戦の部品を作っていたと言います。そんな中、撃墜されたB・29が御器所に墜落したのを憲兵が来る前に見に行ったそうです。残骸を見てみるとジュラルミンの子部品が金型でできていたそうです。自分分は材料をハサミで切り、木ハンマーで成形し、ヤスリで仕上げ、ドリルで穴を開けていた。アメリカの金型による製作なら俺の100分の1の時間でできるだろう。この戦争は絶対に勝てないとその時思ったそうです。当時、彼は網を織る製網機械を製作

する技術屋でした。そして終戦の年に製網機の部品と機械の修理からはじめました。しかしその時からB・29のことが忘れられずいずれは金型を作りたいと思っていました。それが実現したのは私が大学を卒業する一年前の昭和39年でした。自分が自慢できる漁網機械の仕事を息子に継がせたいと思うのが親心とっていたが、私に一切それをさせなかったし、お前は金型を作ってくれと言ったのは今でも不思議に思っています。半世紀が過ぎ高度な技術を手にした現在、お陰で私や国内外の社員は良い生活が出来るようになりました。

Q7、子供たちに本を読む機会を与えるために、四日市市内の小中学校、及び、県立高校への図書費の寄付をされているとお聞きました。寄付をされるに至った経緯を教えてください。

伊藤会長：学生の頃、私は理数が好きで国語の成績はずっと3でした。大学生になってアパートに住むようになり多くの本を読みました。その中で良い本に出会いました。元海軍航空隊の坂井三郎氏の著書「大空の侍」と小田実氏の「何でも見てやろう」でした。この本は何度も読み返し本当に感銘を受けた本でした。坂井氏の影響は大きく25年後にパイパー・チェロキーと言う米国の軽飛行機を操縦するまでに至りました。又、小田実氏から影響を受け海外に興味を持ち、

35年目にはフィリピンに会社を設立するきっかけとなりました。これほど素晴らしい影響のある本をなぜもっと早く気がつかなかったのかを後悔しました。

6年前、四日市市長と建築会社の社長と食事をする機会がありました。「今の子はスマホばかり使い、あまり本を読んでないみたいだね。」するとPTAで活動している社長から、「毎年予算が足りないから父兄の力に頼っている」と言いました。私は市長に「将来を背負う若者には本の予算をケチってはいけないよ」とお願いしたところ返答に困っていました。「それなら私がやる」と言うことで、四日市の小中学校59校に4年前から寄付しています。今年から県立の12高校にも寄付をさせていただくようにしました。四日市から立派な若者が育つことを期待しています。

Q8、東海ラジオの番組「伊藤澄夫の天下の一大事」で、伊藤さんは乗り物が大好きであることを知りました。それについてお聞かせください。

伊藤会長：ハイ。私はさらにロケットと潜水艦に乗ればこの世の乗り物は全部乗ったこととなります。70年近く前、14歳の時従兄弟が経営する会社に4トントラックがありました。会社の前が砂利道で従兄弟に「乗ってみるか」

と言われて飛び上がった喜びました。当時の車はギアチェンジが難しくギリギリ音が出てなかなかギアチェンジができなかった。5分後にアクセル・ワークで上手に入るようになったことで従兄弟はびっくり。それ以来車に病みつきとなりました。会社で車の部品を製作している関係で今までにトヨタ車を中心に50台近く乗りました。ある時期にはスーパーカーにも憧れましたが、今はボンバルディア社(カナダの飛行機会社)の子会社で生産する三輪バイク(1350CC)で遠乗りを楽しんでいます。



Q9、障がい福祉が抱える課題は多くあります。会長のお考えをお聞かせください。

横山理事長：私たちは地域社会との「共生の実現」を目指しており、「障がいがある無しに関わらず、共に社会の一員として生活する」と日々努力していますが、なかなか目標には至っておりません。私どもの今抱えている大きな問題として、「8050問題」というものがあります。親御さんが80歳、障がいのある子どもが50歳で在宅介護率が95%とわれています。100人いましたら、その内の5人は施設に入り、95人は自宅で親御さんが面倒を見ているのです。これは日本の古くからあるもので、障がいのある子どもを家で隠して育てるということです。今では福祉施設が増えてきましたので、施設を利用される方が多く



伊藤澄夫の
天下の一大事

東海ラジオ AM1320-1340 FM102.5MHz

なりましたが、海外に比べると日本の福祉は約20年遅れていると私は思っています。

伊藤会長：実際にとても困っている障がい者の方が多いと思います。ちょうど先日YouTubeで似たような関連のニュースを見ました。ヨーロッパでは日本でいう施設などは少なく、利用者さんの自宅まで訪問して支援をすることが多いという話でした。日本からしたらそれは驚沢に聞こえますが、ヨーロッパからするとそれは違うそうです。100人の利用者さんが過ごせる施設を作ろうと思うと、建物費や光熱費、修繕費、さらにはそれに人件費がかかってきます。それなら人だけを雇い、建物費などはかからずに、その家に訪問するだけのほうが安いのだと。施設を建てる驚沢なことではしませんが、思っていました。

ですが、実際に自宅に訪問してできない事もあると思うのです。やはり施設に居ていただいた方が、少ない人材で多くの利用者さんの支援ができる部分もあると思います。

横山理事長：…私どもの企業理念として「親亡き後の一生涯支援をおまかせください」とコミットメントしています。伊勢亀鈴会の若手にも会長の著書を読むなどして、海外に負けない新しい福祉を作ってもらいたいと考えています。会長の考えがあれば、お聞かせください。

伊藤会長：全国的にも障がい者施設に十分な補助金が出ていない現状があると思います。その部分について以前から考えていたことがあります。日本の企業がもっと積極的に障がい者の施設に仕事をまわすべきだと思います。以前に鈴鹿の知り合いに聞くと、時価200円ほどで仕事をしてもらっていると言っていました。そんな安い金額ではだめだと思っています。最低でも500円は出さないと、利用者さんのためにはなりません。伊藤製作所でも今後そういった仕事があった際には、是非ともお声掛けさせていただきます。今はそういった仕事がないので、利用者さんが一生懸命作ったわくわくジャムを購入させていただきます。それを社員の福利厚生にあてさせていただいて、一回きりではなく、今後も定期的な購入を考えています。それを情報発信することにより、福祉に協力的な考えが増え、いくと嬉しい限りです。

お忙しい中、お時間をとっていただき、重ねてお礼申し上げます。今回のインタビューは、弊社にとって大変貴重な財産となります。社長のお言葉にもありましたが、「社員を大切に」「気持ち忘れずに、伊勢亀鈴会は今後も更なる努力をしていきます。今回はインタビューを受けていただき、本当にありがとうございました。」





元気の秘訣は何？

南勢就労支援センター 田中倉子さん

今回紹介するのは、南勢就労支援センターを約17年利用いただいている御年81歳の田中倉子さん。

一度、体力の限界と令和2年（2020年）に退所され老人デイサービスを利用されていたが、「やっぱり通いたい」と令和3年（2021年）に再開いただき、令和7年現在、元気に週5利用いただいている。

ツバ取り作業は若い利用者さんに任せて、施設の環境整備にお力を注いでいただいている。作業で使用した軍手は、洗濯機では落ちない汚れも多く、その汚れを手洗いで洗浄されたり、施設前慰霊碑の清掃作業をすすんで取り組まれている。暑くても寒くても慰霊碑の清掃に取り組まれる姿に、その熱い想いはどうしてなのかと伺うと「昔に福本さん（故人・元南勢利用者さん）と70歳まで通おうって約束してたの。彼は68歳で他界してしまったけど、ここ（慰霊碑）にいるから、綺麗にしてあげたくて」と。

同年代の方だけでなく、若い南勢の利用者さんとも楽しく過ごす事が元気の秘訣なのか、運動会や日帰り旅行などにも積極的に参加されている。シルバーカーを押してはいらっしゃるが、足腰の衰えもほとんど見られず、歩くスピードも元気にあふれている。「無理したらあかんよ」や「体調大丈夫？」と職員へも気遣いされ、懐の深さと年齢を感じさせないパワフルさを学ばせていただく毎日である。

「85歳まで利用して欲しいって言われるの」と話されているが、わたしたちが倉子さんの年齢になった時に元気に働けているか？と自問自答すると、ただただ尊敬しかない。

今年は芸術文化祭に向けて得意な編み物作品を出そうと目標も持たれ、日々元気に過ごしていただいている。



いちご、たくさん食べたよ♪



得意な編み物です



軍手、綺麗になったよ！



わくわくジャム

私は、2014年4月より、ジャム担当として、主にジャムの加工作業に従事しております。

まずは、私たちが作っている「わくわくジャム」の安心と美味しさの3つの理由をご紹介します。

- ① 優しい砂糖といわれる「てんさい糖」を使用し、糖度40前後の低糖で無添加材料のみで作っていますので、お子さまからご年配の方まで安心してお召し上がりいただけます。
- ② 果肉のゴロゴロ感を残し、もぎたての果実のようなフレッシュでジューシーな風味と食感が味わえる。
- ③ 地元、三重県産ブランドにこだわり、旬の果物を使用している。

季節限定でいろいろな種類のジャムを作っており、単品でも季節を楽しむことが出来ますが年4回に分けて、その季節の旬の果実で作ったジャムとニンジンジャム17種の内、ランダムに13種をお届けするわくわく定期便もご用意しております。

今は旬を迎えたいちこの入荷が多く、加工場では、包丁や火気を使用するので、

第2南勢就労支援センター

ジャム担当 加納早由里



利用者さんが怪我をしないように気を付けながら、下処理や加工を毎日頑張っています。

特に、いちごのきれいな赤色をお客様へお届けしたくて何度も丁寧に灰汁をとり、いちごの形を残しつつ、水分を飛ばして、とろみをつけているので、一度ご購入いただきは是非、いちごジャムのきれいな赤色を見て、果肉のゴロゴロ感を感じていただければ幸いです。

本年度は新たに1名の利用者さんを迎え、より明るく・楽しい雰囲気で作業・販売をしていきます。

わくわくジャム販売を見かけた際は、是非ともお声掛けください。元気いっぱいジャム販売メンバーが笑顔でご対応させていただきます。

合言葉は「お・い・し・く・な・あ・れ」



八野生活介護センター

令和6年度 八野芸術文化祭 表彰式 開催

3月14日(金)、13時30分、デイルームにて八野芸術文化祭表彰式が、明るく和やかな雰囲気の中で行われた。

今回の芸術文化祭には、入所、通所、URAURA八野の利用者さんが日々取り組んできた絵画や工作、書画、組紐などバラエティ豊かな作品が多数寄せられ、それぞれの個性と感性があらわれる素敵な展示となった。

表彰式では、特に優れた作品を制作された利用者さんに、表彰状と記念品が贈られた。受賞された利用者さんは緊張した面持ちの中にも、喜びや達成感を感じている様子が印象的だった。受賞者の皆さんは左記の通り。

最優秀賞	原佳紀	(組紐)
理事長賞	田中陸	(絵画)
伊藤本部長賞	中井秀美	(絵画)
田辺本部長賞	葛西英治	(陶芸)
奥村本部長賞	川戸敏則	(節分のお面)
中村本部長賞	宮崎加奈子	(書道)
中前施設長賞	豊田徳尚	(絵画)
URAURA参加賞	出展者全員	

最後に、利用者さん全員で「贈る言葉」を合唱し締めくくった。今回の芸術文化祭を通して、利用者さん一人ひとりが自信を深められたこと、また施設内にたくさんさんの明るい笑顔が生まれたことが大きな成果となった。今後も、皆さんが自由に自己表現できる機会を大切にしたい。



受賞作品



展示作品 (3)



展示作品 (2)



展示作品



田中さん



豊田さん



葛西さん



開会式挨拶



開会式



川戸さん



原さん



中井さん



「贈る言葉」合唱



理事長選考中



最優秀賞
組紐

放課後等デイサービスURAURA

URAURA八野

どうぶつ見学ツアー

5月17日(土)、雨上がりの午後に、松阪市のタケガワふれあい動物園に出かけた。ここはロバやヤギ、ブタやウサギ、ポニーやロバ、ニワトリや亀など、様々な動物が自由に過ごしている小さな私設動物園だ。動物達が間近で見られるつえに一部の動物とは触れ合う事もできるのでみんな興味深々。ドキドキしながらふれ合ったり、近くでじっくり観察したり。短い時間だったが動物たちの可愛さを満喫でき、楽しいひと時を過ごせた。



フクロウのモーリーちゃんもお出迎え



ヤギやポニーのすぐ横に進みました



3種類のカメがいるんですって



ウサギと飼育員さんと触れ合いタイム



おそろおそろ触れ合ってみる



ウサギがかわいすぎる♡

URAURA稲生

電車に乗ってゴー!

5月17日(土)の活動は、電車に乗って目的地に到着するまでの「乗車体験」に挑戦した。スタート地点は近鉄津駅。1人ずつ乗車券を買ったところから始めて、改札を通って駅ホームへ。白線の内側に二列で並んで待つことや乗る時は先ず降りる人が先...など、乗降の際のマナーを学び実践した。車両に入り込むと落ち着いて着席でき、車窓の風景を楽しむ余裕もあった。目的地の白子駅が近づくところ「お家が見えた!」「小学校だ!」など大喜びする様子もみられた。



時刻表を確認することからスタート



ぼくはどの電車に乗るのかな?



電車に乗るのは楽しいは



津駅は大きいね!



並んで座れたので良かったです

八野就労支援センター

「生涯学習」、始まる

八野就労支援センターは、今年度4月より新しい活動の取組みに挑戦している。生涯を通じて学び続けることで、心豊かで充実した人生を送ることを目的とした「生涯学習」である。

4月は「ボッチャ」、「朗読」、「漢字検定」の3科目が設定され、月2回、平日の1〜2時間に専門の講師を招いて学習する。

各作業場から立候補された利用者さんが、それぞれの科目を通じ、自分が持っている表現力やスキルを如何なく発揮されていた。いつもは真剣な表情で作業に集中し、あまり笑顔も見られなかった利用者さんも、「え？こんな一面もあったの？」と、職員も驚かされる場面が多く見られ、改めて利用者さんの持つ可能性に期待を抱く結果となった。

5月からは「フライングディスク」が追加され、最初は参加に消極的だった利用者さんも、自分も参加したいと希望されるまでになってきた。

今後の目標について、ボッチャは、大会に出場し、1勝を挙げることで、朗読は福祉施設への訪問し、朗読を披露すること、漢字検定は、検定試験への挑戦し合格すること、フライングディスクは、大会に出場し、全国大会へ進むなど、それぞれの目標を持って活動に取り組み、社会参加への促進も行っていきたいと考えている。



まずは10級からスタート「漢字検定」。簡単な漢字だけど、ちゃんと書かないと×になる



チームプレイが大切！「ボッチャ」



大会が5月末に開催される「フライングディスク」



宮沢賢治の「雨ニモマケズ」を感情をこめて読む、「朗読」

きれいサポートステーション

防犯教室で、 自分の身を守る事を学ぶ！

5月23日(金)、鈴鹿警察署生活安全課の方をお招きし、近年ニユース等で騒がれている「特殊詐欺等の犯罪被害から身を守るために」という講義をしてもらった。闇バイトの問題では、良かれと思って一度関わると逮捕されるまで抜け出せないと教えて頂き、利用者さんも「怖いわ」「絶対分かんないよな」と声が上がっていた。各種詐欺被害に遭わない為には、まず、おかしいなと思ったら身近にいる人に「相談する」そして、「確認すること」が大事だと教わった。

最後に鈴鹿市では自転車等の窃盗事件が多発しており、自転車に乗っている利用者さんにもいることから、充分に注意喚起をもらった。

今一度職員含め利用者さんと一緒に、詐欺や窃盗に関しての勉強会を開いていきたい。



真剣に聞こう



詐欺に注意



犯罪って怖い

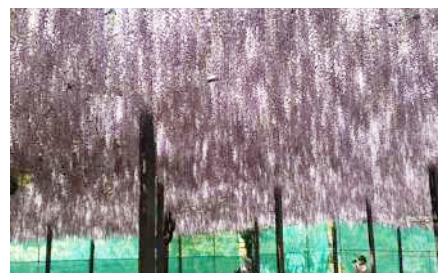
かざはやの里に行つたよ



ハイ、ちーず!



仲良し3人組



満開～

リフレッシュ活動として、4月29日(火)に津市かざはやの里に行ってきた。

かざはやの里では、四季折々の花を見る事ができ、梅やふじ、紫陽花が咲く。

今年はふじの花の開花が早く、日頃の皆さんの行いも良かったのか、ベストなタイミングで来園することができた。きれいにふじの花が咲き誇り、別の場所ではネモフィラの花が色鮮やかに広大な土地を彩っていた。

これからも、四季を感じ、心身ともにリフレッシュしていけるような活動をみなさんと楽しんでいきたいと思う。



鬼滅の刃みたいだね

南勢就労支援センター

とっても美味しかった!!

今年のGWは天候にも悩まされた3日間の活動でした。5月2日(金)は、手打ちうどんに初挑戦!小麦粉に水を少しずつ入れ、こねないようにパラパラにしながらひとまとめにし、袋に入れて15分寝かせたのち、生地を足で順番に踏みこんだ。

その後1時間ぐうい寝かせるため、その間に昼食タイム。昼食後も、うどんの話題でもちきりだった。午後、袋から出し、ワクワクしながら麺棒で伸ばし、包丁で裁断。包丁使用中は言葉もなくみんな集中して取り組んだ。裁断した生地をゆでて、出汁と刻み葱、天かすと合わせて試食!!不揃いの麺、きしめん以上に太い麺もあったが、「おいしい!!」と全員が満面の笑みで完食だった。美味しさだけでなく下準備の大切さ、完成までの工程を学んだ。



麺棒チャレンジ



ドキドキ♪



いただきまーす♪



真剣に麺切包丁体験

波の音、白い砂浜に癒されて



真剣に選んで作ります♪



私の作品どうかな?

5月5日(月)、明和町大淀にある「大淀西海岸ムービーチキキャンプ場」に出かけた。
海岸で貝殻拾いをしたり、釣りをしたり、砂浜に寝そべったり、…各々砂浜でまったりと楽しんだ。
午後からは拾った貝殻でフレームアート作り。巻貝をダイナミックにアレンジしたり、キラキラ色の貝を丁寧に並べたりして、素敵な作品を完成。
保護者様からも「素敵な作品で癒されました」と感想をいただいた。

第2南勢就労支援センター

「体験活動」

日帰り旅行での電車利用へ向けて、体験活動にて、電車移動訓練を実施。
斎宮駅にて時刻表・松阪駅までの金額を確認される。切符を購入し、駅の中へ電車を待つ間ヒソヒソと楽しそうに話されている声が聞こえた。電車に乗り松阪駅に到着。事前に話し合った場所へ携帯のナビを使用して向かう。決められた金額の中で、昼食・おみやげを購入したり、近くを散策したりと各班で決めたコースを回られる。

班によって暑い日や雨の日があったが、非日常感の体験だったので作業中では見ることが出来ない素敵な笑顔でいっぱいであった。



松阪駅到着 何食べる？



とばしまメモリーが来たよ



食後のデザート☆



いただきま〜す!!



裁判所に来たよ!!



城攻めの相談



松阪城見学

宮の里ミタスメモリアルホーム

生け花

昨年から生け花講師による生け花教室を開始。
ひとりひとり真剣な表情で季節の花々と向き合っている。

自分の理想を思い浮かべながら、どの花を中心に据えるか。

「柔らかさと力強さの調和」と空間（バランス）を意識して自然の花々をそのまま生けた。

ふんわりと広がる花びらの中に、初夏のやわらかな陽ざしを想像され心がほぐれたのか、皆さんが自然と笑顔になられた。

今後、見ていただく方々の心に寄り添えるような作品づくりに取り組んでいきたい。



自然と笑顔になる花



白い花をメインに生けよ～



どこに生けようかな～



お花生けるの得意♪



色とりどりに花を上手に生けたよ～



完成★

二見生活介護支援センター 潮音

いちご狩り

この時期にしては少し冷たい風が吹く3月13日(木)。松阪市にあるハッピー農園へいちご狩りに出かけた。

「寒い」と、身を縮めながら土手を歩き、たどり着いたビニールハウスに入るとそこには、暖かい空気の中、真っ赤に熟したいちごがたくさんぶら下がっていた。その光景に職員も利用者さんも「んー、美味しそう」と、待ちきれない様子。制限時間45分。説明を聞いた後、始まったいちご狩り。自分の手ですべて食べるいちご。大きいけれど丸くてかわいいいちごに思わずにつこりしながら、がぶつと一口。ジュワッと甘い汁が口から漏れたすほどみずみずしく、とても新鮮ないちごに大満足。

いちごを摘み取っては、「はい、どうぞ」と、配り始める方や車椅子を自走され、自分のペースで楽しめる方。何個？何十個？数えきれないほど食され、「もうお腹いっぱい」「もう満足した」という声と「えっ、まだ食べるの？」職員も驚くほどいちごが大好きな方。あつという間に時間終了。

ビタミンCをたっぷり捕給し、つややかな頬で笑顔の記念撮影。そして今日の笑顔は、一期一会！



苺だ、いえーい！



ぱくっと一口



おいしかったよ！

ふれあい広場

5月11日(日)、晴天に恵まれ去年から再開されたふれあい広場では地域の皆様が沢山見えていた。その日の潮音利用の利用者さん全員も参加し、楽しまれ、ポップコーンと綿菓子の振る舞いに嬉しそうなお表情をされ、以前から交流ある方や、懐かしい友人とも会えお話も絶えることなく楽しまれていた。また昨年潮音にて周年祭のイベントで歌謡ショーを披露して頂いた「城エリナさん」をはじめ、地域のボランティアの方々、スティージショーに、来場された方たちは一緒に歌い、また一緒に踊り、それぞれの時間を楽しまれている様子が伺えた。

出店店舗も多く、飲食はもちろん消防車、警察のパトカー、白バイなども来ていて、お子様たちのキラキラした表情も見られ、ふれあい広場にはたくさん笑顔があふれていた。

10時〜13時30分の約3時間半はあつという間に過ぎ、祭りあとを寂しく感じられる様子もあったが、帰る際には「また来年」と皆さんが声をかけているのを拝見し、明るく、また来年の開催を心待ちにしたいと感じた。



ふれあい広場写真

伊勢亀鈴会「伊勢市障がい者サポート企業・団体」 として新たに認定

伊勢市では、障がいの有無にかかわらず、だれもが自分らしく暮らせる共生社会の実現を図るため、障がいに対する理解を深め、配慮を实践する「障がい者サポーター」制度の推進に取り組んでいる。（現在、既に市内29の企業・団体が認定されている）

伊勢亀鈴会は、障がい者を積極的に雇用するとともに、社会的事業所を市内で運営し、市の庁舎や公共施設の清掃など障がいのある人が能力を発揮できる場所づくりにも取り組んでいる。

今回「伊勢市障がい者サポート企業・団体」の申請を行い、令和7年4月4日（金）、「伊勢市障がい者サポート企業・団体」として新たに認定され、市長から認定証を授与された。



音楽療法

伊勢亀鈴会では平成27年から音楽療法に取り組んでおり、音楽療法士による個別およびグループセッションを通じて、運動機能の維持・向上、感情の表現やコミュニケーションの促進を目的に、一人ひとりの状態やニーズに応じたプログラムを実施している。

3月9日（日）、愛知学院大学名城公園キャンパスにて行われた「第18回日本音楽医療研究会学術大会」に、音楽療法PTメンバーが参加した。

音楽療法のご指導をいただいている佐藤先生（国立長寿医療研究センター・医師）の研究会で、音楽を治療として用いる方法を考える会として発足されたものである。医療・福祉機関、音楽関係者をはじめ、教育・理学・工学など幅広い分野の方が年に1度集い、事例研究発表や情報交換が行われている。今回、音楽療法PTからは「音楽療法における導入基準の明文化」について、八野生活介護センターの木村心理士が発表した。

発表にあたり「感覚的に判断をしていたものを言葉にすること」にはとても苦戦をしたが、共通認識となるものを作れた達成感はとても大きな経験となった。



会議中の様子

北勢地区八野通所保護者総会

4月19日(土)、八野通所保護者総会を開催した。

八野生活介護センター7名、八野就労支援センター23名、きれいサポートステーション21名の保護者様が出席された。オープニングでは利用者さんと保護者様によるピアノの連弾を披露。理事長挨拶の後に総会開始。

総会後は各事業所に分かれ、施設の概要、職員の紹介、日常や行事の利用者さんの様子や施設の取り組みを伝えた後に、質疑応答の時間を設け今後の支援等について話し合うことができた。



理事長のご挨拶



ピアノの連弾の様子

宮の里保護者会

5月10日(土)、入所保護者会を開催。当日は、13名の保護者様と横山理事長にご出席いただいた。

法人の理念の一つ「自己実現」について昨年度の成果発表(保育園で園児さんに紙芝居を披露したい・お孫さんに手作り絵本をプレゼントしたい)を利用者さんの潮田美奈子さんと細江かおりさんにいただいた。



プレゼントした手作り絵本を披露

又、今年度の新たな取り組み「音楽活動を通して地域コミュニティへ参画」について担当職員から説明した。

保護者の皆様、貴重なご意見ありがとうございました。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

南勢・第2南勢保護者会

5月10日(土)、南勢・第2南勢の保護者会が開催、多くの保護者の皆様にご参加いただいた。保護者会からの収支報告後、法人理念、現在行われている「生命の輝きキャンペーン」などをご説明させていただいた。各施設の取り組みを動画で紹介し、その際、利用者さんの自己実現の場として第2南勢わくわくジャムの利用者さんがトッピングされたスイーツをふるまい、美味しい時間も過ごしていただいた。南勢もハンドベルを発表予定だったが、都合により発表の場は秋まで順延させていただいた。A・ICTに向けた話もお伝えさせて頂き、興味をもていただけた。

当日はご多忙の中ご参加いただき、誠にありがとうございました。



トッピングしたスイーツをふるまう

9 施設合同大運動会

5月24日(土)、第19回保護者参加型合同運動会を津市芸濃町総合文化センターアリーナ体育館にて開催した。

開会式に続き、ダンシング玉入れや車いすリレー、時間差大玉転がし、借り物競争を行い、利用者さん・保護者職員が一体となって盛り上がった。競技中は笑顔と歓声があふれ、応援にも熱が入り、会場全体が温かい雰囲気包まれた。昼食には栄養バランスの取れた美味しいお弁当を味わいながら、参加者同士の交流も深まり、楽しいひとときを過ごした。最後は表彰式と閉会式を行い、頑張った皆さんの活躍を称え、参加者全員での記念撮影で、笑顔あふれる一日を写真におさめて締めくくった。参加者一人一人が達成感を得て、心に残る充実した一日となった。



大きな声で選手宣誓☆



行きま〜す!



力を合わせて頑張るぞ!



車いすリレー



ご家族さんも応援!



みんな負けるな



頑張れ〜!



大玉転がしスタート



理事長も参戦!



スピードアップ!



お母さんと一緒



入れ〜!



見事なチームワーク!



楽しかった!!



輝く笑顔が
まぶしかったで賞



大きな声で
返事出来たで賞!!



ファイト〜



これは?



ダッシュ!



みんなで記念撮影



トナカイメガネげっと!!



お酒が好きな人〜!

木地 政之さん・竜田 尚美さん



日中バージョン



イルミネーションバージョン
夜になるとこんなにきれいに見えるよ！

宮の里ミタスメモリアルホーム



きれいなアートギャラリーでは利用者さんの作った物、書いた物など作品を紹介していきます。
各施設の力作が勢ぞろい！是非ご覧ください。



潮田美奈子さん



「心の木」
生活クラブのみなさん

八野就労支援センター



「感謝」
生活クラブのみなさん

きれいかいの動き

新職員紹介

きれいサポートステーション

南勢就労支援センター



磯田 純哉



角 真伍



藤原 仁



井口 理

宮の里ミタスメモリアルホーム

二見生活介護支援センター潮音



看護師
山口 ひとみ



奥西 美紀



上村 正彦

ご寄付をいただきました。 ありがとうございました。

ご寄付 2025.3.1~2025.5.31

法人

今枝 清子 様	八野就労利用者様ご家族
在間 敏明 様	鈴鹿社会的施主様
服部 ゆかり 様	鈴鹿社会的施主様
中江島町自治会 山口 様	
株式会社アスト 柴田友美 様	鈴鹿西ロータリー会員
前田 真紀子 様	潮音保護者様

福祉葬祭三重

真宗高田派	法流寺 様
真言宗醍醐派	一心寺 様
真宗高田派	浄運寺 様
真宗高田派	法林寺 様
曹洞宗涌金山	養泉寺 様
浄土真宗本願寺派	西方寺 様

※掲載中の写真におけるマスクの取り外しについて

各施設とも感染症対策のため、マスク着用は徹底しておりますが一部の記事ではマスクをしていると表現が伝わらない部分もありましたので、マスクを外して撮影させていただきましました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

本号の編集長を務めさせていただきました、八野就労支援センターの天野です。

初の編集長ということで戸惑うこともありましたが、頼りになる編集委員の方々の協力を得て機関誌を発行することができました。

今回の編集に関わってくださった皆様ありがとうございました。

ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスメモリアルホーム、二見生活介護支援センター潮音では、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいています。利用者さんと娯楽(卓上ゲーム等)・園芸・話し相手など気楽に接していただける方も募集しております。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ

八野生活介護センター 担当:高田 TEL059-378-8881

宮の里ミタスメモリアルホーム 担当:澤 TEL0596-58-5030

二見生活介護支援センター潮音 担当:倉田 TEL0596-72-8822



きれい通信

ちょっと寄り道!!



神社入口



社内から



龍神さん

鳥羽市にある答志島の見どころの一つになっている美多羅志神社。名の由来について「美」は、美称。「多羅志」は、古代海人族のタラシー族から来ていると言われています。

夫婦で参拝し、つがいのアワビを奉納すると美しい瞳の子を授かると言われています。五男三女の子を持つ神様で子授けのご利益があるとされ、島では、段の所で履き物を脱いでお参りをするそうです。

境内には、「龍神さん」と呼ばれる龍の顔の形をした御神木の椎の木もあります。

鳥羽マリンターミナルから市営定期船にて約20分、和具下船徒歩15分。爽やかな夏の風に美しい海景色と歴史、そして漁村ならではの新鮮な海産物あふれる答志島。この夏、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか！



美多羅志神社

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
八野生活介護センター
指定放課後等デイサービス事業所
URAURA八野
〒513-0837 鈴鹿市八野町428番地の1
TEL059-378-8881代 FAX059-379-3223
e-mail hachino@kirei.or.jp
指定放課後等デイサービス事業所
URAURA稲生
〒510-0205 鈴鹿市稲生4丁目19-6
TEL059-392-5130代 FAX059-392-5131
指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所
八野就労支援センター
〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
TEL059-378-6622代 FAX059-378-5335
e-mail hachino2@kirei.or.jp
指定就労継続支援事業所
福祉の森の家 体にいいおにぎり屋
〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-380-6355 FAX059-367-7377
指定共同生活援助事業所
グループホームきれい
〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-388-1508 FAX059-388-1508
指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 空羅多ガーデン (くろたがーてん)
〒513-0207 鈴鹿市稲生塩屋2丁目1番5号
TEL059-388-1882 FAX059-388-1882
指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 亀山 第1栗の木ヴィレッジ
(第1) 〒519-0166 亀山市布気町1446-2
TEL059-95-96-8182 FAX 0595-96-8182
指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 亀山 第2栗の木ヴィレッジ
(第2) 〒519-0166 亀山市布気町1446
TEL059-95-96-8183 FAX 0595-96-8183
指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 御糸の杜 (みいとのもり)
〒515-0354 多気郡明和町行部131
TEL0596-55-6800 FAX 0596-55-6800
指定共同生活援助事業所
グループホームきれい みや川
〒519-0504 伊勢市小俣町宮前31-2
TEL0596-20-8530 FAX0596-20-8531
指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・指定就労定着支援事業所
きれいサポートステーション
〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1
TEL059-388-0864 FAX059-367-7911
指定就労継続支援事業所・指定障害児相談支援事業所・指定一般相談支援事業所
きれいライフステーション
〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1
TEL059-340-7997 FAX059-367-7050
指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
宮の里ミタスメモリアルホーム
〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-5030 FAX0596-58-5033
e-mail miyanosato@kirei.or.jp
指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所
宮の里ライフステーション
〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-5888 FAX0596-58-5033
指定生活介護事業所・指定短期入所
二見生活介護支援センター 潮音 (しおね)
〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL0596-72-8822 FAX0596-72-8823
指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所
潮音ライフステーション
〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL / 0596-63-5061 FAX / 0596-72-8823
指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所
指定就労定着支援事業所・指定生活介護支援事業所
南勢就労支援センター
〒519-0427 度会郡玉城町宮古字鈴鹿家728番地の18
TEL0596-58-0101代 FAX0596-58-6742
e-mail nansei@kirei.or.jp
指定就労継続支援事業所
お弁当屋 潮音 (しおね)
〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310
(二見生活介護支援センター潮音内)
TEL0596-72-8808 FAX0596-72-8817
e-mail obentoya-shione@kirei.or.jp
指定就労継続支援事業所
第2南勢就労支援センター
〒515-0347 多気郡明和町志貴里中1134-3
TEL0596-55-6711代 FAX0596-55-3535
e-mail nansei2@kirei.or.jp
指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 白子
〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12
TEL059-380-1711 FAX059-380-1712
指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 鈴鹿南
〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1
TEL059-380-1717 FAX059-380-1720
指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 津
〒514-0014 津市港町18-12
TEL059-213-1717 FAX059-213-1771
指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 伊勢
〒516-0013 伊勢市鹿海町656-1
TEL0596-26-3170 FAX0596-26-3025
社会的事業所
まかせ太君 (鈴鹿)
〒513-0836 鈴鹿市国府町字高群3917-272
TEL059-370-8118 FAX059-370-8119
社会的事業所
まかせ太君 (伊勢)
〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741
TEL0596-63-5450 FAX0596-63-5451

指定就労継続支援B型事業所

印刷

八野就労支援センター
きれい印刷工場

〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
TEL059-375-4381 FAX 059-340-8810 e-mail insatsu@kirei.or.jp